

MONTBLANC SPECIAL INTERVIEW

株式会社 らいふ ホームステーションらいふ 松戸八柱



スタッフの意見を凝縮！ 11年ぶりの ユニフォームとは。

関東エリアで約40カ所の介護施設を展開する、株式会社らいふ様。11年ぶりに、全施設のユニフォームを新調されました。今回のリニューアルによって、スタッフや利用者さん、施設はどう変わったのか。千葉県にある「ホームステーションらいふ松戸八柱」に伺い、お話を聞きました。

介護や介助だけでなく、
「夢や希望をかなえられる介護施設」として。

「生きる力を引き出す介護®と生きる力の介護®」を理念に掲げ、『高齢者が“生きがい・やりがい・働きがい”を持っていきいきと暮らせる社会を作ること』を使命にされている株式会社らいふ様。今回取材に伺った松戸八柱の施設も非常に明るく、開放的な雰囲気が印象的でした。施設内で行う季節の行事をはじめ、観光やグルメなどの外出イベントも多数実施されており、身体や生活面をサポートするだけでなく、やりたいことや、やりたかったことなど夢や希望を実現するお手伝いを



されています。また「パワフルスタッフ」として、近隣の70代以上の方の採用を積極的に行っているのも特徴のひとつ。シニア世代の採用は介護の担い手不足を解消すると同時に、地域の雇用創出にも大きく貢献しています。利用者さんと世代の近いシニアスタッフは共通の話題で会話が弾み、自然な流れで悩みや要望を吸い上げられるというメリットも。松戸八柱にも10名以上が在籍され、83歳の方も現役で働いておられます。



新ユニフォーム導入のため、
社内の「リニューアル委員会」が奮闘。

株式会社らいふ様がユニフォームをリニューアルされたきっかけは、社内アンケート。暑い、動きにくい、汗をかくと脱ぎにくい……など改良を求める声を受け、各施設のスタッフで構成する「ユニフォームリニューアル委員会」が発足しました。委員会メンバーは忙しい合間を縫って本社に集まり、さまざまなサンプルを取り寄せ、試着を何度も繰り返しました。その中から素材やデザイン、カラーなどを総合的に評価し、

3ヶ月をかけて選ばれたのが現在のユニフォーム。アンケートに寄せられた意見を参考に、通気性の良さと、伸縮性に優れた素材になりました。また役職によるユニフォームの色分けを廃止し、好きなカラーが選べるようになったのもポイント。介護職員も、調理や清掃を担当するスタッフも、シニア世代のパワフルスタッフも、全員が同じユニフォームを着用し、自由にカラーを選べるようになりました。



32-5032 (ピンク/白) 32-5035 (イエロー/白)
32-5033 (ブルー/白) 32-5039 (ネイビー/白)
32-5034 (グリーン/白)

スタッフのモチベーションを
高めるユニフォームの
大きな役割。



千葉・埼玉東部エリア本部長兼管理者 永田雅之さん

心地よく楽しく働けるユニフォームで、
気持ちまでやさしく。

新ユニフォームの導入によって、どんな影響があったのでしょうか。管理者の永田さんは、「役職ごとに色分けをしなくなったことで、スタッフの一体感がより強くなりました」と評価されています。また利用者さんからは、「カラフルになったね」「明るくなった」というお声も聞かれるそうです。介護職員の方からは、「断然動きやすくなった」「きつくないから脱ぎ着しやすい」「汚れ落ちが良い」「涼しいのに透けにくい」と評判

は上々。作業効率アップにも一役買っているようです。さらに「利用者さんの顔に当たらないように、後ろにポケットがほしい」「お名前は？とよく聞かれるので、胸にネームの刺繍があればうれしい」など、新しいアイデアもぞくぞく。働く方のしあわせは、利用者さんのしあわせにつながります。いただいたお声を大切に、これからも快適なユニフォームを作っていきたいと、あらためて感じました。



株式会社 らいふ

取材協力／ホームステーションらいふ松戸八柱
千葉県松戸市日暮7-8
本社／東京都品川区東品川2丁目2-24
天王洲セントラルタワー18階
<https://www.life-silver.com>

